

酸京★ニュースレター

2023年11月号

SFX海外ニュース始めます

才能を活かそう

代表取締役 小峰 聖

当社が成功を収めるためには、チームの存在が不可欠です。当社では、**チームの成功は、チームを構成する社員が、明確な目標と明確な役割を会社と共有し、一人一人が自分の才能を活かし、発展していくことにある**と考えています。

そこで、当社では現在、チームを強くするため、一般的には、1on1(ワンオンワン)と呼ばれる個人面談の代わりに、少人数で課題解決に取り組むミーティング(3PMと呼んでいます)を開始しました。

継続は力。

定期的に行うことで、チームの一人一人が自己肯定感と成長意欲を高めていけるよう、才能の発展を後押ししています。



特効海外ニュースをお届けします!

特殊効果演出に関する最新情報を、より興味深いものに。海外からの情報もお届けしてまいります。**特殊効果は英語でSFX (Special Effects) と呼ばれ**、その起源は映画が発明された1895年、イギリスの監督による映画作品が始まりとされています。特殊効果は、映画やTV、舞台やショー、スポーツ、式典に至る様々な作品やイベントの演出に不可欠な存在となっています。デジタル化が進む昨今では、SFXと並んでVFX (視覚効果) という後処理技術も盛んです。

映画の都、米国ハリウッドではどんな特殊効果が話題なのか? ラスベガスで今一番ホットなショーとその演出は? いまロンドンのシアターではどんな試みが始まっているのか?

次号より、特殊効果演出に関わる海外発のニュースをお届けしてまいります。
どうぞご期待ください。



特殊効果演出についてよくいただく質問

Q 火薬を使わないスパークラー。
中身はどんな仕掛けになっているのですか？

A 仕様をもとに、仕掛けおよび実際の扱い方についてお伝えします。

スパークラー（Sparkular）は、中国のShowven社が開発した**特許取得の特殊効果機材の商品名**です。

2016年、ラスベガスで開催された舞台技術の展示会、LDIで最優秀新商品賞を受賞。以来、**火薬を使わずに花火のような効果を実現できるアイテム**として世界中で使用されています。

その後開発が進み、現在機種は10種類以上。

噴射の高さはおよそ1.5m～10m、噴射方向も、真上・真下、斜め上、回転や波打つタイプなど豊富です。

使用機材として、スパークラー本体と演出制御用のホストコントローラーがあり、DMX通信ケーブルでつないで使います。**素材として専用の金属粉末を使用**します。チタンにジルコニウムを配合したもので、粒子が粗いため、消防法で規定される**危険物に該当しません**。

使い方としては、専用の金属粉末をスパークラーに投入、付属のRFICカードをかざして噴射時間をチャージし、操作可能にします。本体のヒーティングを行い（3～5分）、スパークラーの使用台数、演出パターン、噴射の高さや時間を設定し、本番に臨みます。使用後は本体に残っている金属粉末を燃焼させ、排出します。

仕掛けとしては、本体の中で、一定量の**金属粉末を電磁波で加熱して燃やし、内蔵されているファンを使い、風量によって噴出の高さを調節できる**仕組みとなっています。

スパークラー（※1）の使用にあたっての安全対策については、2019年に東京消防庁より「**金属粉末を用いて火花を噴出する演出用機器の安全対策等**」という**ガイドライン**が策定されました。その後、機材の性能および機能の発展に伴い、2023年3月に新ガイドライン（PDF10ページ、※2）が施行されています。



右のQRコードから
詳細動画や
ガイドラインを
ご覧になれます



※1
スパークラー



※2
新ガイドライン



当社へのお問合せは
右のQRコードから



あなたの一票お待ちしております！

Q：前号のデザイン（黒）と今号のデザイン（青緑）、どちらが良いですか？

Q：あなたイチオシの特殊効果演出は？

Q：本誌で取り上げて欲しい情報やトピックは？

質問は3つ。サクッとご協力いただくと嬉しいです。

アンケートはこちら →
ご回答は10/31（火）まで



前号デザイン



今号デザイン